

データで見る 金沢大学 2024

KANAZAWA
UNIVERSITY





データで見る金沢大学2024

CONTENTS

1 沿革・組織	01
2 基礎データ	02
3 教育	03
4 研究	06
5 社会共創	08
6 国際交流	10
7 附属病院 / 附属図書館・資料館	12

1 沿革・組織

沿革

金沢大学の起源は1862年の加賀藩彦三種痘所まで遡ることができ、160年以上の歴史があります。さまざまな前身校の歴史と伝統を引き継ぎ、1949年5月に新制大学として発足。2004年4月、国立大学法人となり、新たな一歩を踏み出しました。



組織

4学域・20学類等	融合学域 先導学類、観光デザイン学類、スマート創成科学類
	人間社会学域 人文学類、法学類、経済学類、学校教育学類、地域創造学類、国際学類
大学院7研究科	理工学域 数物科学類、物質化学類、機械工学類、フロンティア工学類 電子情報通信学類、地球社会基盤学類、生命理工学類
	医薬保健学域 医学類、薬学類、医薬科学類、保健学類
	国際基幹教育院総合教育部 (1年次のみ)
	人間社会環境研究科
	自然科学研究科 医薬保健学総合研究科 先進予防医学研究科 新学術創成研究科 法学研究科 教職実践研究科

7研究所

がん進展制御研究所 / ナノ生命科学研究所 / ナノマテリアル研究所 / 設計製造技術研究所 / 高度モビリティ研究所 / 古代文明・文化資源学研究所 / 先端観光科学研究所

その他

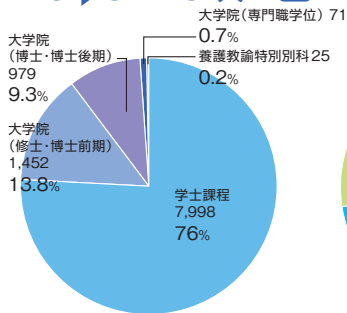
4研究域、附属病院、研究域附属センター、学内共同教育研究施設 ほか

2 基礎データ

学生数、教職員数

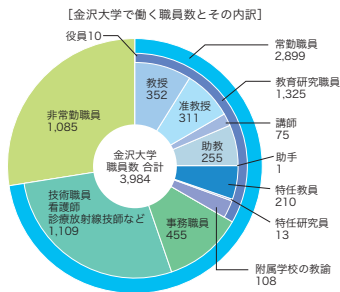
学生数

10,525人



教職員数

3,984人



面積

約 241 万㎡

全国 2 位

※国立大学における校舎などの
用地上供する土地の面積

角間キャンパス2,008,565㎡

宝町・鶴間キャンパス151,053㎡

その他253,332㎡

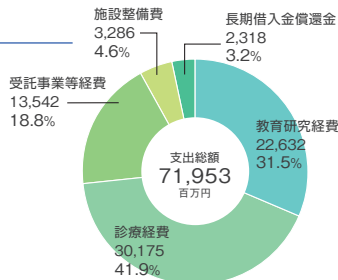


予算

総額

71,953 百万円 (2024)

金沢市の一般会計予算額の
約1/3の予算規模



3 教育

金沢大学の特色ある学びの仕組み

4学域・20学類において、一人一人の成長をかなえる学びの環境を実現しています。また、全ての学類と接続する大学院(研究科)を整備しており、より高度な研究・教育を通して、世界の学術発展に寄与できる人材を養成します。

●学域学類制

旧来の学部・学科の垣根を超え、異なる学問分野が融合した学域学類制により、境界領域を含んだ広い分野の学問の履修が可能です。

●経過選択制

基礎を学びながら、ゆっくりと、じっくりと自分のテーマを選んでいくことができます。

●主専攻・副専攻制

「主専攻」に加えて興味関心のある「副専攻」を、一人一人が主体的に選び、自分の学びを広げ、深めていきます。学際的、横断的な学びで、視野が広がり柔軟な発想力や応用力が鍛えられます。



金沢大学〈グローバル〉スタンダード (KUGS)



KUGS: 金沢大学が育成する
人材の具体的な姿

学士課程:

6つのスタンダード

1. 自己の立ち位置を知る
2. 自己を知り、自己を鍛える
3. 考え・価値観を表現する
4. 世界とつながる
5. 未来の課題に取り組む
6. 新しい社会を生きる

大学院課程:

4つのスタンダード

1. グローバルマインドと明確な倫理的思考
2. 交渉力・統率力・実践力
3. 多様な「知」を融合し、新たな価値を創出する総合知
4. トランスファラブルスキル

4 研究

科研費

日本の学術振興のため優れた研究を支援する「科研費」。
2023年度の教員一人当たり新規採択件数は国立大学3位*であり、全国でもトップレベルの採択水準となっています。*大学院大学を除く

新規採択件数

271件
(2023年度)

国立大学
教員一人当たり

3位

受入金額
(新規+継続)

2,529百万円
(2023年度)

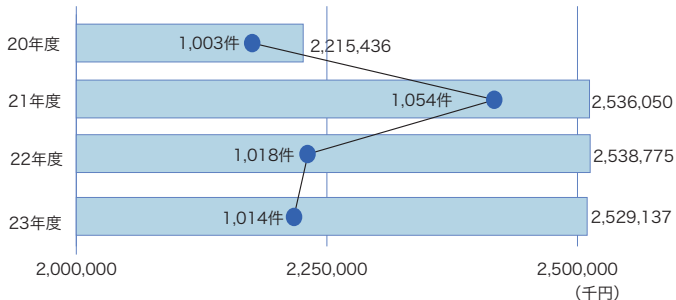
10年間で
42.7%
増加

2023年度科研費 教員一人当たり新規採択件数ランキング

順位	国立大学名	教員一人当たり採択件数	新規採択件数
1	東京大学	0.34	1,367
2	熊本大学	0.30	244
3	金沢大学	0.27	271
4	東京医科歯科大学	0.26	226
5	京都大学	0.26	914

○文部科学省「令和5年度科学研究費助成事業の配分について」(2023.12公表)を基に作成。
○大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」を基に作成。
*研究代表者の所属する大学等により整理している。

【科研費受入金額・受入件数(新規+継続)の推移】



■金沢大学では、先端科学・社会共創推進機構(FSSI)が中心となり、申請書類作成のための説明会や研究費支援など、さまざまな方策を実施することにより、科研費の一層の獲得増を目指しています。

2024 Nature Index Annual Tables ランキング

「Nature」を発行するシュプリンガー・ネイチャーによる国内大学ランキングでは、金沢大学の研究は世界的に高い評価を得ています。

Research
Leaders 2024



総合

全国 11位

Chemistry 分野

全国 10位

Biological
sciences 分野

全国 10位

Physical
sciences 分野

全国 12位

学術論文(国立大学)

学術論文数

12,904件
(2014.1-2024.2)

学術論文被引用数

195,587件
(2014.1-2024.2)

教員1人当たり論文被引用数

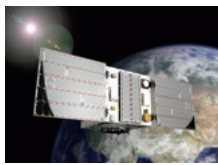
全国 6位

学術論文被引用数

地球科学分野
薬学・毒性学分野 全国 11位

【日本の論文の引用動向 2014.1-2024.2 日本の研究機関ランキング】
○クラリベイト社「Essential Science IndicatorsSM」データベースを基に作成。
○大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」を基に作成。

数字から見る金沢大学の最新研究



X線突発天体監視速報衛星
「こよう」(金沢大学衛星1号機)
イメージ図



画像提供:SpaceX社



未来知実証センター完成予想図

金沢大生が中心となって開発された
衛星1号機「こよう」
地上との通信に成功

実現したい未来を描いた
15のショーケース
未来知実証センターで展示

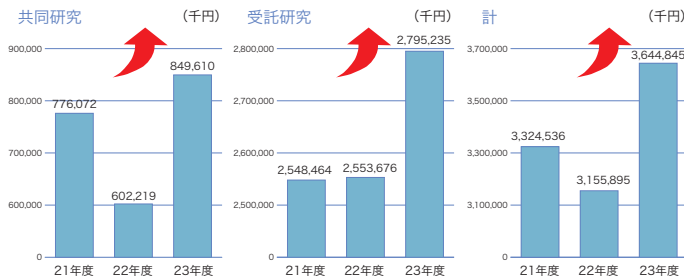
5 社会共創

産学官連携

外部資金

研究成果の社会実装を目指して、共同研究や受託研究など外部資金の受け入れを積極的に推進しています。

外部資金受入額の推移(各年度実績)



発明届出・特許出願

発明届出件数

(2023年度)

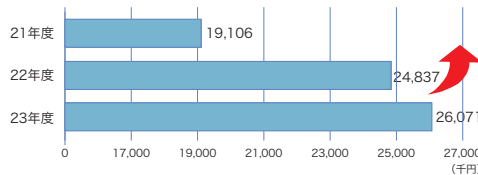
77件

特許出願件数

(2023年度)

59件

特許権実施等収入の推移(各年度実績)



社会連携

連携協定

15自治体

石川県および富山県の各市町自治体

- ①石川県
- ⑦加賀市
- ⑬穴水町
- ②金沢市
- ⑧羽咋市
- ⑭能登町
- ③七尾市
- ⑨白山市
- ⑮富山県南砺市
- ④小松市
- ⑩能美市
- ⑤輪島市
- ⑪志賀町
- ⑥珠洲市
- ⑫中能登町



地域との連携

■能登里山里海 未来創造センター

令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて2024年1月に設置したセンターです。地域・自治体・企業との協調・共創と文理医の融合により、オール金沢大学で能登地域の創造的発展に貢献していきます。

のべ876名

ボランティア派遣
(2024年8月末現在)



■能登里山里海SDGs マイスタープログラム

世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」など能登の豊かな地域資源を正しく評価し、能登の活性化を担う人材を育成します。多様な職種の人々との共創により、新たなビジネス創出と持続可能な地域づくりにつなげていきます。

241名

マイスター輩出
(2007年～)



■北陸未来共創フォーラム

北陸地区の国立4大学と、北陸の多様な企業・諸団体・行政機関等とが協業する産学官金プラットフォームです。イベント開催やテーマ別の分科会を通し、オール北陸で新産業創出や人材育成に取り組み、北陸の未来を創ります。

登録会員数

188会員



新しい発見、新しい結合、新しい価値。

北陸未来共創フォーラム

産学官金プラットフォーム for Resilience and Revitalization

■Project:AERU

いろんな人に「会える」、個性や強みを「和える」、みんなで学び「合える」の3つをコンセプトとした、地域参加型の課外活動プログラムです。学生が企業、自治体や地域の方と連携して、地域の魅力発信や課題解決に取り組みます。

のべ692名

の学生が参加

出会う、つながる、学びあう。
Project:AERU

6 国際交流

交流協定校数

341 機関

(63カ国 1地域)

大学間交流協定校241校
(58カ国1地域)、
部局間交流協定校100機関
(32カ国1地域)



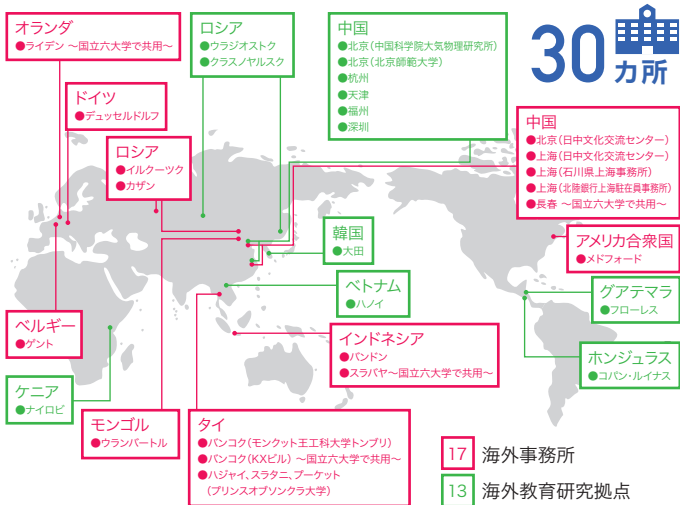
間断しない成長と地球規模の課題解決を実現する国際教育研究拠点を
目指し、世界トップレベルの大学との連携を強力に推進しています。

大学間／部局間国際交流協定 機関分布

	アジア	中東	オセアニア	アフリカ	ヨーロッパ	北 アメリカ	中南 アメリカ	国際機関
大学間国際交流協定 241機関 (58カ国1地域)	141	8	6	6	55	13	11	1
部局間国際交流協定 100機関 (32カ国1地域)	61	1	3	2	28	4	-	1
総計 341機関 (63カ国1地域)	202	9	9	8	83	17	11	2

海外リエゾンオフィス

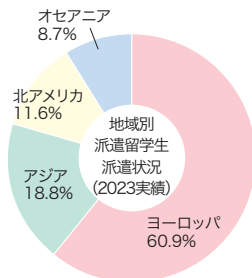
現地での学生募集、広報活動などを目的とした「海外事務所」と、本学
教員の研究活動、学生の海外研修プログラムなどで利用される「海外教
育研究拠点」があります。



海外派遣学生数

423人

(2023年度実績)



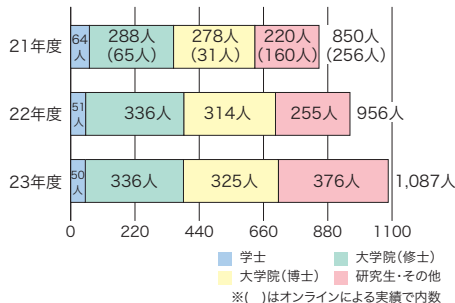
外国人留学生数

1,087人

(2023年度累計実績)



【外国人留学生受入状況の推移(各年度実績)】



日本人研究者等海外派遣数

912人

(2023年度実績)



外国人研究者等受入数

244人

(2023年度実績)



学生留学生宿舍「先魁」「北濱」

日本人学生と外国人留学生が一つのユニット(男女別)で共同生活するシェア
アハウスタイプの宿舍で、キャンパスの国際日常化を推進します。



7 附属病院／附属図書館・資料館

附属病院

附属病院は、35の診療科の下、北陸の地域医療に貢献しています。
また、特定機能病院として、高度の医療を提供しています。

病床数

830床



外来患者数(1日平均)

1,488人



(2023年度実績)

入院患者数(1日平均)

622人



(2023年度実績)



附属図書館

附属図書館は、中央図書館(角間キャンパス北地区)、自然科学系図書館(角間キャンパス南地区)および医学図書館(宝町・鶴間キャンパス)の3館で構成されています。

蔵書数

194万冊



電子ジャーナル
10,409タイトル

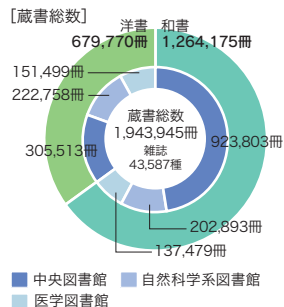


資料館

金沢大学に関する資料を収蔵し、
展示・閲覧等に供している施設です。
なお、当資料館は博物館法に定める「指定施設」です。

資料数

約89,000点



キャンパス位置図

金沢市内





発行／金沢大学広報戦略室

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL.076-264-5024 FAX.076-234-4015

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/>

※このリーフレットの掲載内容および最新ニュースなどについては、金沢大学Webサイトでもご覧いただけます。

※データは特別な記載がある場合を除き、2024年5月1日現在のものです。



2024.9.4200